

安来市

科学的に正しい
認知症予防学

鳥大・浦上教授が講演

「安来認知症講演会」(安来第一病院主催)が、安来市飯島町の市総合文化センターで開かれた。鳥取大医学部認知症予防学講座の浦上克哉教授が「科学的に正しい認知症予防」と題して講演。市民や介護関係者な

ど約320人が聴講し、認知症への理解を深めた。

浦上教授は新型コロナウイルスの生活様式の変化に伴い認知症患者が急増する予想データに触れるとともに、6月に成立した認知症基本法に

「予防」が盛り込まれたことを紹介。科学的根拠を基にした認知症予防の重要性を説いた。

認知症の原因は血管性とアルツハイマー型の2種類が大半を占めることを示



認知症予防の大切さを説く浦上教授

れを除去する良質で長い睡眠が予防として大事」と話した。

また嗅覚の衰えがアルツハイマー型認知症のサインである研究データなども示し、「認知症の予防方法は年代によってやることが変わる。正しい対策をしてほしい」と語った。

参加した同市の岩田道子さんは「嗅覚が認知症に係することは初めて知った。介護関連に従事しているので、職場でもこの知識を役立てたい」と話した。

(足立芳郎)

し、「血管性は高血圧などの生活習慣病が原因とはつきりしているので予防しやすい。アルツハイマー型はアミロイドβタンパクの蓄積から始まるので、そ